

アクセス方法
 ※六甲山地のどこを指すかにより駅が変わります。
 今回は、再度山（ふたたびさん）登山道へのアクセスです。

<電車>
 山陽新幹線「新神戸駅」→徒歩（約40分）
 神戸線「新大塚駅」→「三ノ宮駅」→徒歩（約20分）
 阪急電車「新大塚駅」→徒歩（約5分）→阪急「梅田駅」→
 阪急電車「阪急三宮駅」→徒歩（約20分）

memo



小さな旅 ホームページ
<http://nhk.jp/kotabi>

小さな旅

～こころのふるさとをみつめて～

コブック vol. 110

山の歌 夏
 はじまりの峰
 ～兵庫県 六甲山地～

2013年9月1日（日）放送

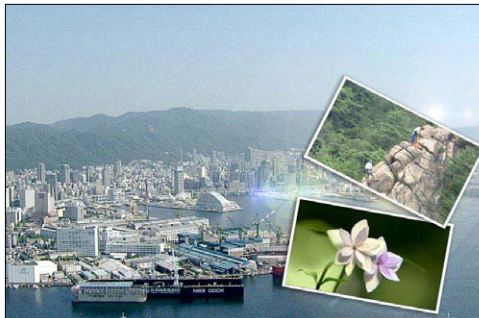


六甲山地の東側に広がる「ロックガーデン」は、六甲山地を形成する花崗岩が風化して独特の岩場になりました。大正13年、神戸の新聞記者・藤木久三は、日本初の岩登り専門の山岳会「ロッククライミングクラブ」を設立。岩場を「ロックガーデン」と名付け、腕を磨きました。そして仲間とともに、マッターホルン、モンブランの頂を極めました。世界を目指すアルピニストたちを輩出した山は、昔も今も、若者の夢のはじまりの場所です。

ロックガーデン

旅の見どころ 3

神戸の市街地に寄り添う六甲山地。標高900メートル前後の山が30キロにわたって連なっています。六甲山地は、幕末から明治にかけて、神戸の街に暮らした「異人さん」が近代登山をはじめた場所でもあります。当時から残る「毎日登山」の習慣。異人さんをもてなした茶屋も残っています。山地の東側に広がる「ロックガーデン」という岩場は、日本で「ロッククライミング」が始まった場所ともいわれています。夏の花や「ナイトハイキング」の模様も織り交ぜ、市民に愛される山を訪ねます。



大正12年から続く燈籠茶屋は、六甲山地の西側、再度山（ふたたびさん）の登山道沿いにあります。日々の習慣として山歩きを楽しむ「毎日登山」が発祥した再度山で、現在唯一残る茶屋です。毎日登山の客でにぎわったこの茶屋の人気メニューが、「トーストパン」七輪で焼いたトーストの中はふんわり、外はカリッとしたり、練乳を使ったり濃厚なミルクテイストともに、異国情緒あふれる神戸ならではの味を楽しめます。

燈籠茶屋

旅の見どころ 2

旅の見どころ 1

北野異人館街

神戸の観光名所・北野異人館街は、三宮から歩いて10分ほど。20軒ほどの建物が立ち並び異国情緒が味わえるスポットです。周辺には、異国料理店も多く、さまざまな国の伝統の味が楽しめます。明治時代、外交官や貿易商など“異人さん”でにぎわった異人館街は、六甲山地の歴史と深く関わっています。彼らが、スポーツやレジャーとして六甲山の山歩きを楽しみ、そこから日本の近代登山が始まったのです。

